

## I. 地域の経済動向調査について

地域の経済動向を把握し、「経営状況の分析」及び「事業計画策定」における基礎資料として活用することを目的として、地域の経済動向調査を実施し分析を行った。

外部データを分析した「滋賀県内の経済動向調査」と、地域内事業所巡回に独自に調査を行ったデータを分析した「彦愛犬地域内の経済動向調査」により、地域の経済動向を明らかにすることを目指した。当事業3年目の調査であり、過去データ等もない状況での調査であったが、調査結果を蓄積することにより価値のある経済動向調査としたい。

使用数値はD I（ディフュージョン・インデックス）とし、増加（上昇・好転・過剰）企業割合から減少（低下・悪化・不足）企業割合を差し引いた値を基本とするが、一部設備投資については実施企業割合とした。

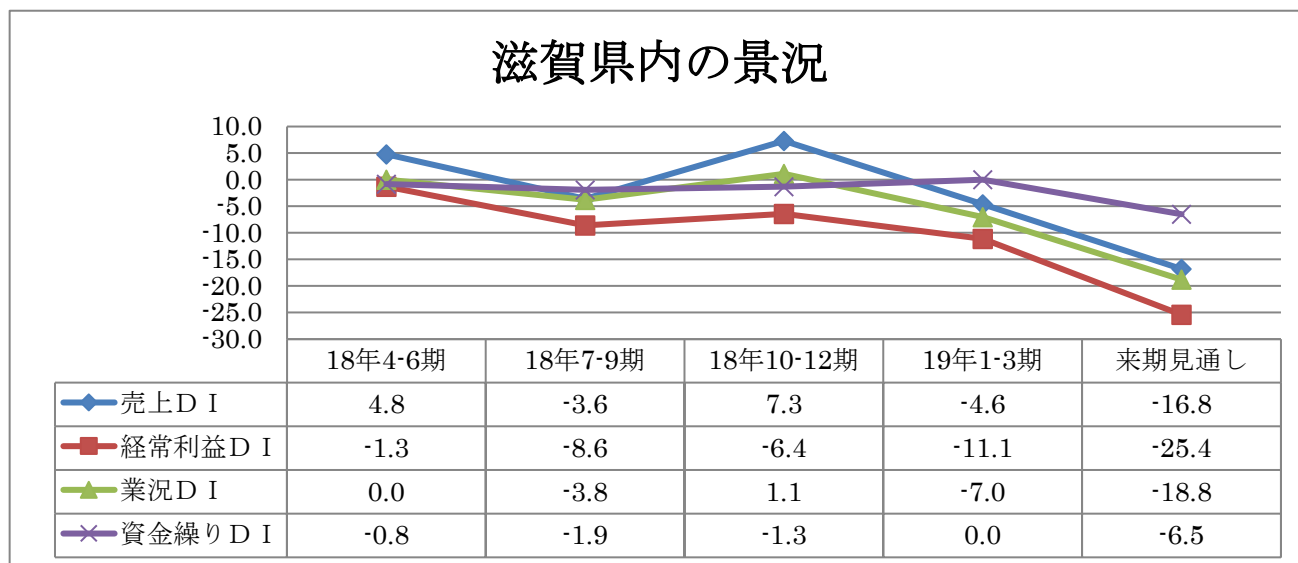
## II. 滋賀県内の経済動向調査 ー平成31年3月期ー

### 1. 調査内容

滋賀県内の経済動向として、公表されている以下の外部データを使用し分析を行った。

- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成30年10月～12月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成31年1月～3月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県内企業動向調査 2018年10～12月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・滋賀県内企業動向調査 2019年1～3月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・中小企業景況調査報告書 平成30年10～12月実績 平成31年4～6月予測 滋賀県商工会連合会
- ・中小企業景況調査報告書 平成31年1～3月実績 平成31年4～6月予測 滋賀県商工会連合会

### 2. 滋賀県内の景況（全業種）

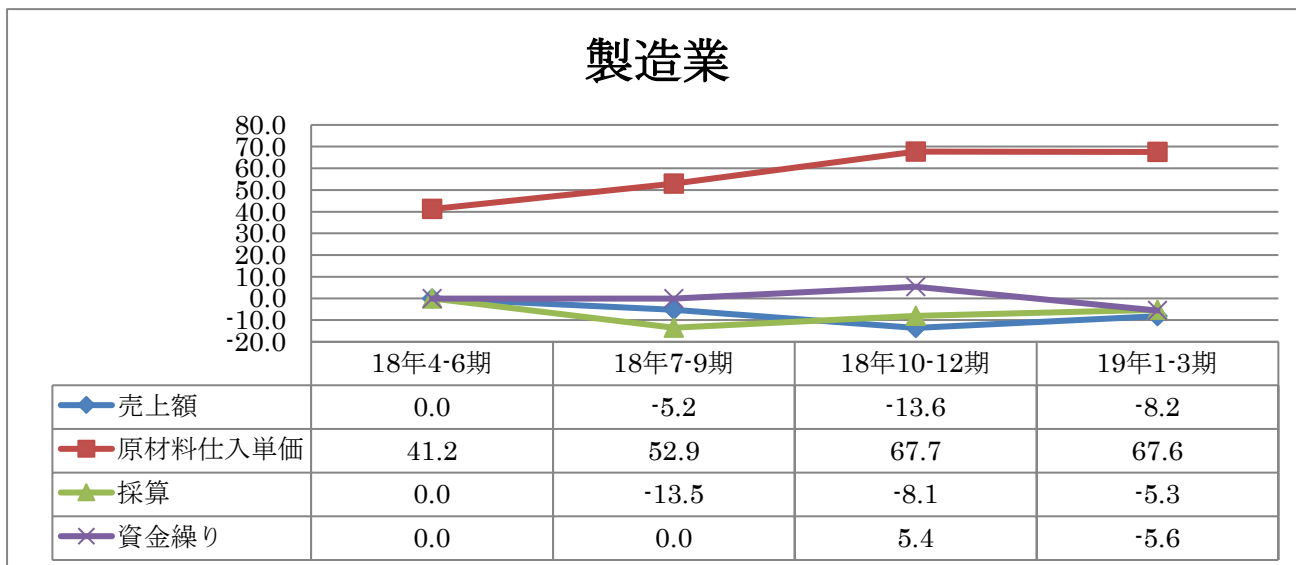


（出典：滋賀県景況調査結果報告書 滋賀県商工観光労働部商工政策課）

売上D IはプラスからH30年度第4四半期にマイナスへと転じた。、経常利益、業況のいずれのDIについてもマイナス領域にあり、来期の見通しについては一層厳しい状況見通しにある。

### 3. 業種別景況

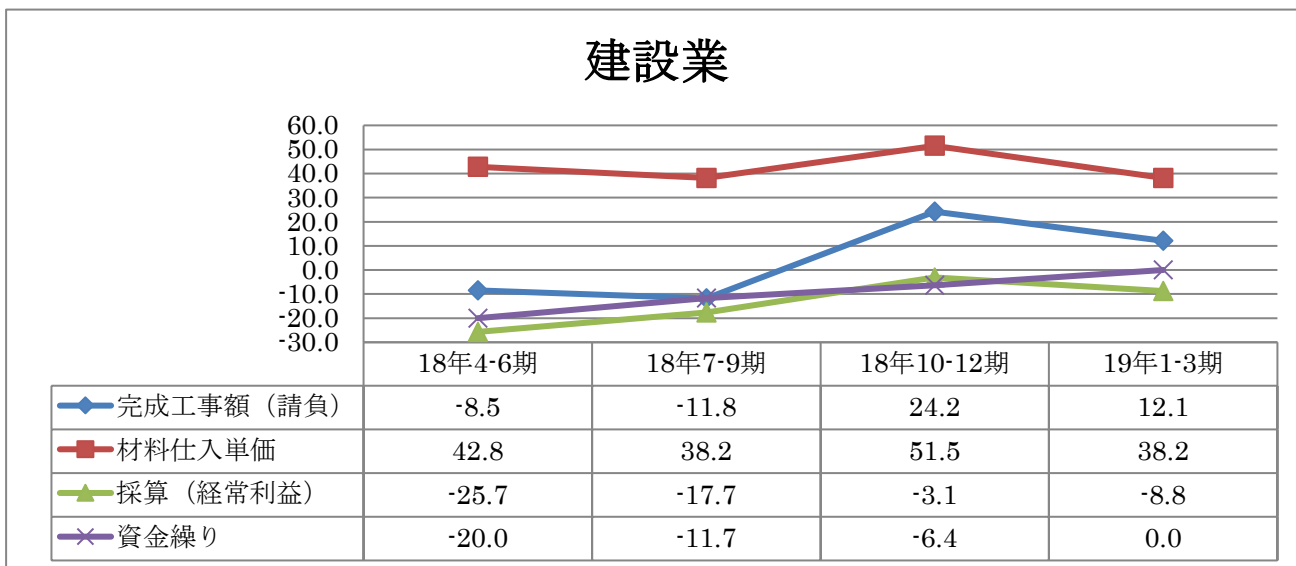
#### ① 製造業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が 32.4%に対し、減少企業が 40.6%で減少企業が 8.2 ポイント上回っている。採算は、前年同期に比べて、好転企業が 26.3%に対し、悪化企業が 31.6%で悪化企業が 5.3 ポイント上回っている。また、現材料仕入単価は上昇傾向にある。

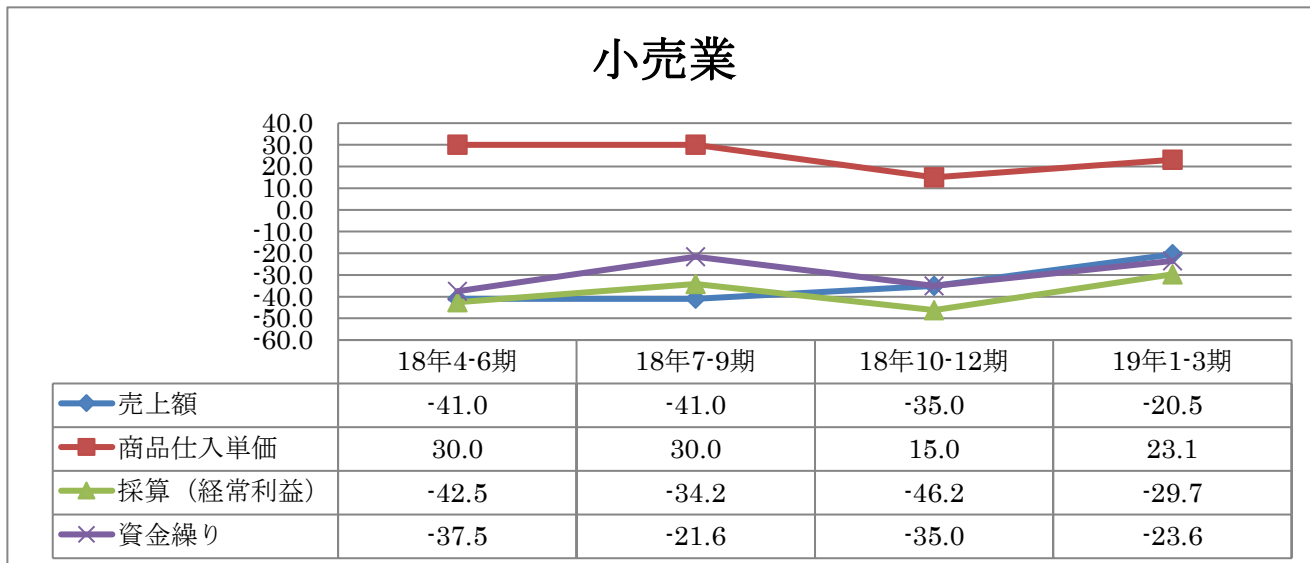
#### ② 建設業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

完成工事額は、増加企業が 33.3%に対し、減少企業が 21.2%で増加企業が 12.1 ポイント上回っている。採算は、前年同期に比べて、好転企業が 11.8%に対し、悪化企業が 20.6%で悪化企業が 8.8 ポイント上回っている。

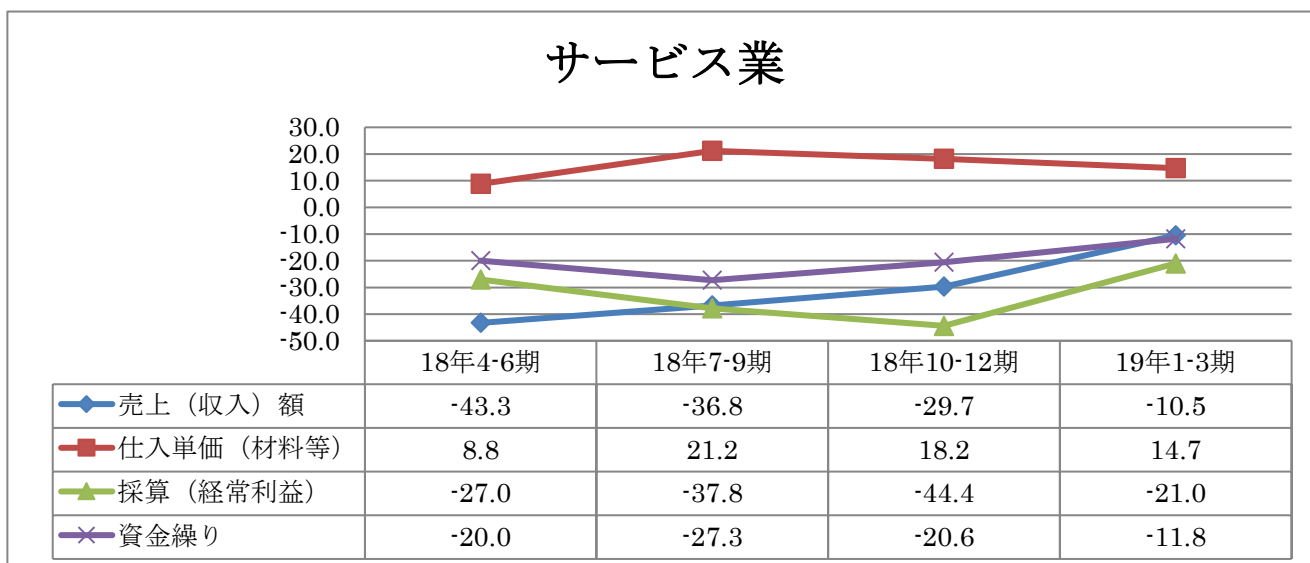
### ③小売業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が 23.1%に対して、減少企業が 43.6%で減少企業が 20.5ポイント上回っている。採算は、前年同期に比べ、好転企業が 5.4%に対し、悪化企業が 35.1%で悪化企業が 29.7%上回っている。

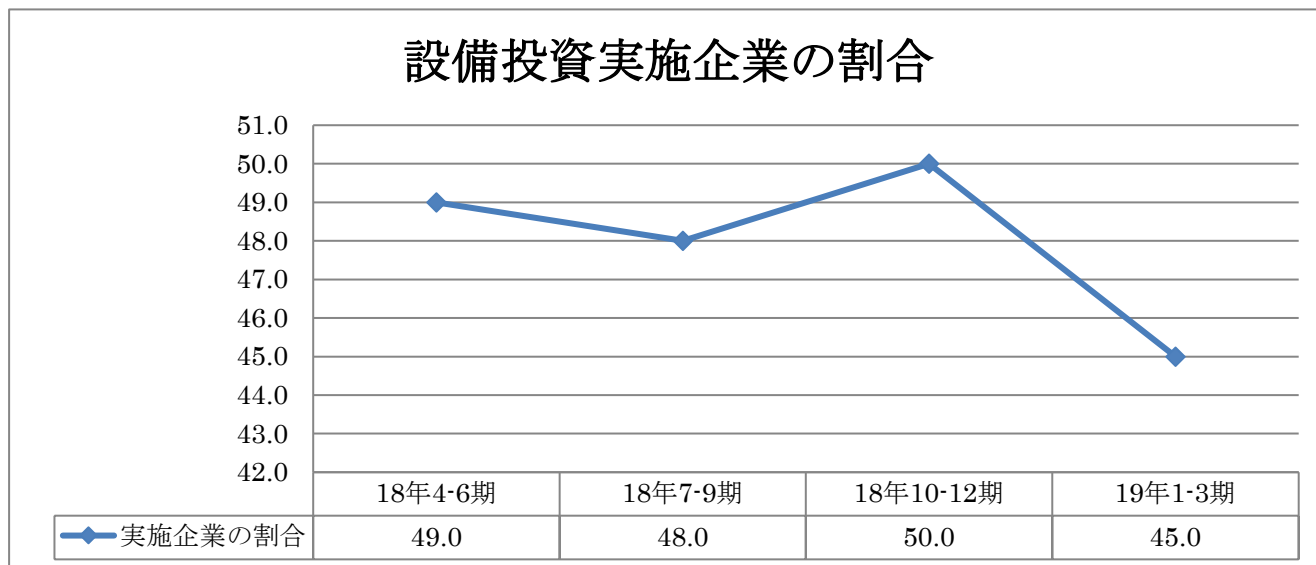
### ④サービス業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が 21.1%に対して、減少企業が 31.6%で減少企業が 10.5ポイント上回っている。採算は、前年同期に比べて、好転企業が 13.2%に対して、悪化企業が 34.2%で悪化企業が 21.0ポイント上回っている。

#### 4. 設備投資の実施状況



(出典：滋賀県内企業動向調査 (株)しがぎん経済文化センター)

全業種における設備投資実施企業の割合については、45%となり50%台を割り込んだ。来期の見通しについては、製造業30%、非製造業39%と全体で低下する見通し。

### Ⅲ. 彦愛犬地域内の経済動向調査 ー平成31年3月期ー

#### 1. 調査内容

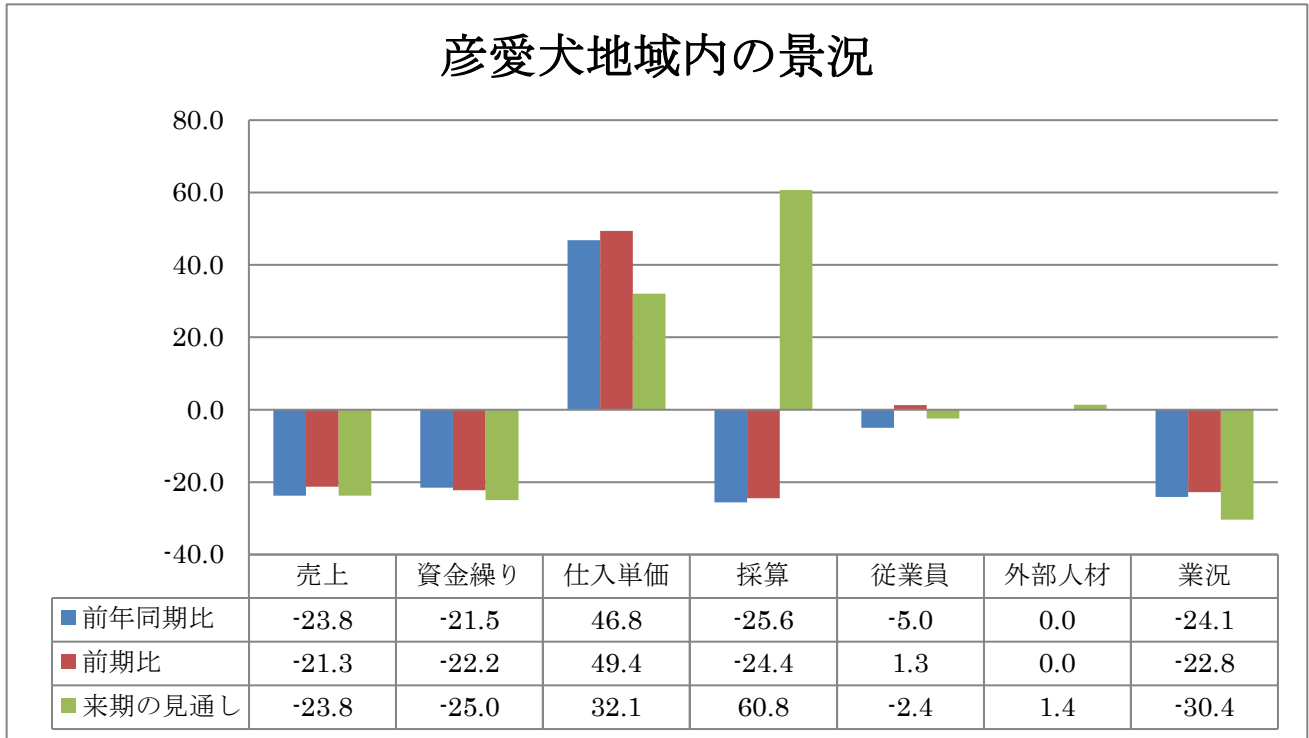
平成31年度4月に、地域内各業種の事業所を業種別に抽出し、平成31年度第3・4四半期の業況についてアンケート形式での調査を実施した。回答を得た事業所数は80社であり、地域の小規模事業者の4.7%に該当する。業種別の回答事業者数は以下の通り。

業種別回答事業者の内訳

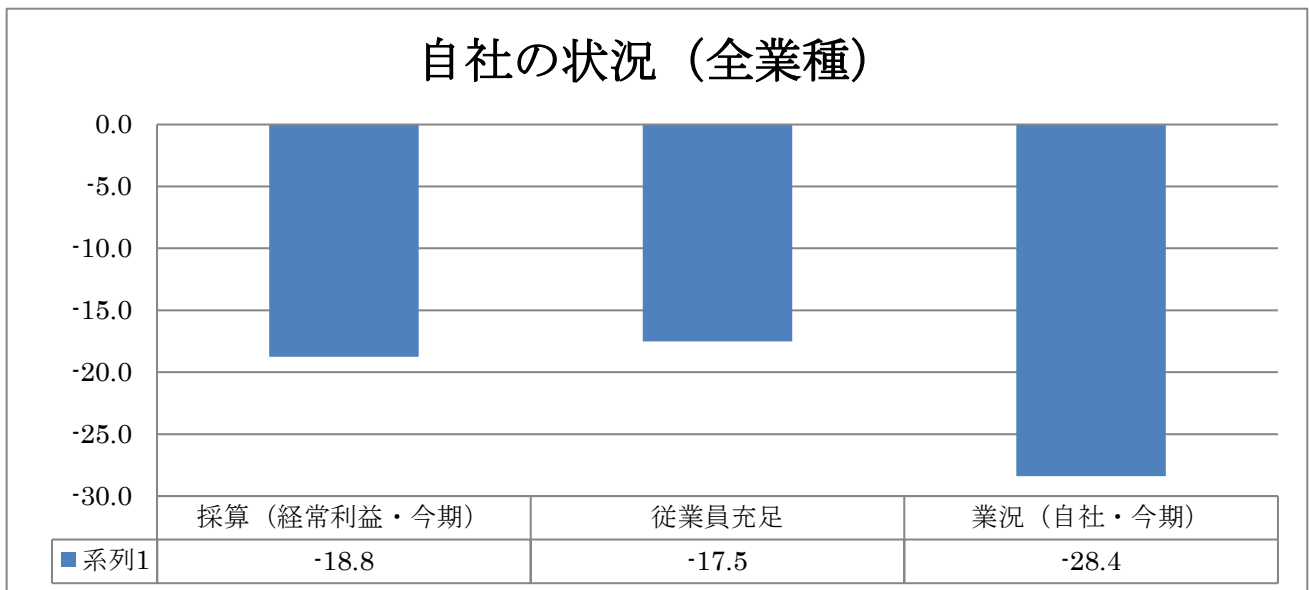
業種	事業所数
小売業	18
サービス業	19
建設業	18
製造業	16
卸売業	9
合計	80

## 2. 彦愛犬地域内の景況（全業種）

※ 前年同期（平成29年10月～平成30年3月）に比べて  
 前期（平成30年4月～平成30年9月）に比べて  
 今期後期（平成31年4月～令和元年9月）の見通し



売上、資金繰り、採算、業況は前年同期に引き続きマイナス傾向で、仕入単価の上昇、人材確保難により業況感については依然低水準である。



従業員不足、業況は前期と比較し、マイナス幅が拡大、従業員充足は若干改善された。